

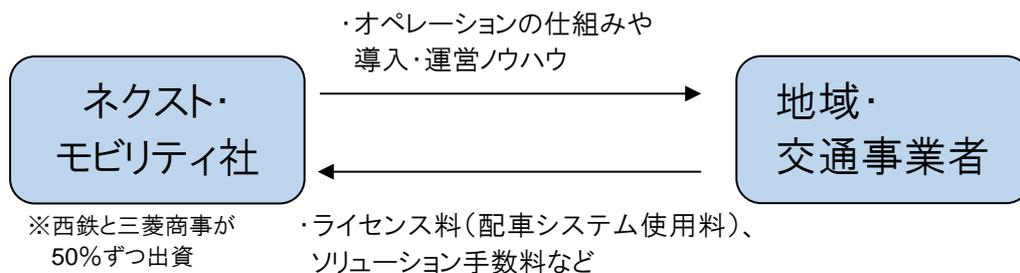
<2021年3月24日発表>

関西地方初！ AI 活用型オンデマンドバス「のるーと」のシステムを 活用した社会実験が大阪市で始まります！

- 西日本鉄道(株)と三菱商事(株)が共同で出資するネクスト・モビリティ(株)が提供する AI 活用型オンデマンドバス「のるーと」のシステムが、大阪市高速電気軌道株式会社及び大阪シティバス株式会社(以下「Osaka Metro Group」という)の社会実験に採用され、2021年3月30日より実証運行が開始されます。
- 「のるーと」は、お客さまのクエストに応じて適宜ルートを設定しながら運行するオンデマンド型の乗合交通サービスです。ネクスト・モビリティ(株)にて2020年6月より全国に展開しており、長野県塩尻市、福岡県宗像市に続き、西鉄グループ以外で採用されるのは今回が3例目となります。
- この度は、Osaka Metro Group が大阪ならではの都市型 MaaS を実現するため大阪市平野区で実施するオンデマンドバスの社会実験で「のるーと」システムをご活用いただきます。
社会実験の詳細につきましては、大阪市高速電気軌道株式会社のニュースリリースをご覧ください。
(https://subway.osakametro.co.jp/news/news_release/20210304_ondemand_bus.php)
- 当社では「のるーと」の展開を通して、今後も運転手不足や利用者の減少などの公共交通事業の課題解決に取り組んでまいります。

(参考) 「のるーと」の全国展開について

【事業モデル】 AI 活用型オンデマンドバスの導入を希望する全国の地域・交通事業者に対し、「のるーと」のオペレーションの仕組みと導入・運営ノウハウを提供します。(ソリューション提供型事業)



<オペレーションの仕組みや導入・運営ノウハウの提供>

- オンデマンドバスを導入するにあたっての計画の立案や導入の支援、利用者拡大に向けた支援
- ・事業を始める前の事業計画の立案を支援
 - ・システム導入時の設定、関係機関との調整を支援
 - ・車両改造や車載器などの手配を支援
 - ・ミーティングポイント(乗降場所)の設置や導入台数など運営上のアドバイス
 - ・利用状況や利用者の声をもとにした改善策の提案
 - ・スペアラボ社の配車・運行管理システムの提供

【導入事例】 ・長野県塩尻市…2020年11月より実証実験として運行(1ヶ月間)
・福岡県宗像市…2021年3月より2年間の実証実験

(参考) AI 活用型オンデマンドバス「のるーと」について

- 【概要】 お客さまのリクエストに応じて適宜ルートを変えながら運行する交通サービス。
AI が利用データを蓄積・学習することで、待ち時間や乗車時間の短縮など、利便性向上につながる特徴。車両定員を 10 名以下にすることで、普通二種免許での運転が可能。
※配車・運行管理システムはスベアラボ社(カナダ)のものを使用。
- 【利用方法】
1. 専用アプリ“のるーと”をインストールし、会員登録
 2. 出発地・目的地を設定し、配車予約
 3. アプリから案内された時刻にミーティングポイントにてバスを待つ
 4. 乗車時に運転士へ予約番号を伝え、運賃を支払う
 5. 目的地付近のミーティングポイントにて下車
- 【専用ホームページ】 詳細はネクスト・モビリティ社ホームページ(URL: <https://www.next-mobility.co.jp>)、および「のるーと」専用ホームページ(URL: <https://knowroute.jp/>)からご確認ください。

(参考) ネクスト・モビリティ(株)の概要

- 【設立年月日】 2019年3月8日
- 【所在地】 福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目12-12
- 【事業内容】 次世代型デマンドバス等交通関連システムのコンサルティング/提供、車両のリース・レンタル等
- 【資本金】 1億5,000万円
- 【従業員数】 9人
- 【株主】 西日本鉄道(株)50%、三菱商事(株)50%
- 【代表者】 代表取締役社長 田中 昭彦
代表取締役副社長 藤岡 健裕

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(Tel:0570-00-1010)まで